

ステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダーとのコミュニケーション

ムラタのステークホルダーは、お客様をはじめ、従業員、株主様・投資家様、仕入先様、地域社会の皆様など、多岐にわたります。企業は社会から信頼されなければ事業活動を行うことはできません。そのためには、ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、要

望に応えていくことが必要だと考えています。ムラタはステークホルダーとコミュニケーションを重ね、ステークホルダーとともに新たな価値の創出を目指すことで、社是と持続的成長の実現につなげていきます。

	ステークホルダーとの関わり	対話手段	担当部門
お客様	ムラタでは、「CSとES」 [※] を経営における大事な価値観としています。その実現のために、ムラタではお客様の新製品の企画・開発・設計の初期段階から技術交流会などを通じて、お客様ニーズの把握に努めています。この活動によって、お客様の困りごとや要望にお応えすることでお客様との長期的な信頼関係の構築に努めています。	- 日々の営業活動 - 商品展示会、オンラインセミナー - ウェブサイト	営業担当部門 各事業の担当部門
従業員	ムラタでは、「CSとES」 [※] を経営における大事な価値観としています。日々の仕事の中で従業員一人ひとりがやりがいを感じ成長し続けることが実現できる企業でありたいと考えています。このような風土の醸成に向けて、さまざまな環境整備や取り組みを行っています。（▶ P.86 人権と多様性の尊重）	- 社長方針説明会 - 従業員サーベイ - 従業員向け研修（階層教育・理念教育など） - 役員との対話会 - 社内ポータルサイト・社内報 - 内部通報制度・相談窓口	人事担当部門 サステナビリティ担当部門 広報担当部門 法務担当部門
株主様・投資家様	ムラタでは、株主様・投資家様へのタイムリーかつ公平で正確な情報開示に努めています。また、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、株主様・投資家様との建設的な対話に積極的に取り組んでいます。	- 証券アナリスト・投資家様向け説明会（インフォメーションミーティング、決算説明会） - 国内外証券アナリスト・投資家様とのミーティング - 株主総会 - ウェブサイト（IR・投資家情報）	IR担当部門 総務担当部門
仕入先様	ムラタでは、仕入先様と信頼し合い、ともに繁栄できる関係を確立することが重要であると考えています。仕入先様とともに固有技術や管理技術の改善に取り組むことに加え、公平・公正かつ誠実な対応、法令の遵守はもちろん、社会倫理に従って信頼関係を構築しております。また、人権や環境に配慮した企業活動を推進しています。（▶ P.93 サプライチェーンマネジメント）	- 日々の購買慣行における仕入先様対応 - 仕入先様専用ウェブサイト - 仕入先様のためのご相談窓口 - 仕入先様への現場監査 - 仕入先様へのアンケート - 仕入先様との品質改善取り組み	調達担当部門 品質管理担当部門 製造部門
地域社会の皆様	ムラタは「そこにムラタがあることが、その地域の喜びであり誇りであるように」と願っています。その実現のために事業を営む地域の課題解決につながる活動を継続的に行うことで、地域の方々に当社の事業や取り組みをご理解いただきながら信頼関係を築くことに努めています。（▶ P.89 地域社会との共生）	- 工場・事業所のある地域行政や近隣住民、NPOなどの皆様との対話や情報交換会 - 工場見学会 - 地域イベントへの参加・協賛 - 従業員による地域でのボランティア活動 - 環境教育・STEAM教育・キャリア教育などの出前授業の実施	総務担当部門 各関係会社

※ CSとES：▶P.21 ムラタの経営資本をご参照ください。

具体例紹介

お客様との対話	環境変化に応じた対話手段でお客様との価値共創を継続
ムラタは、お客様から信頼され最善の選択として当社を選び続けていただくため、社会価値と経済価値の好循環を生み出す経営を目指しています。その実現のためにムラタの強みであるグローバルネットワークを活用し、QCDS [※] と社会課題解決の視点でお客様に価値提供しています。お客様に提供する価値を最大化するには、お客様との密なコミュニケーションによるニーズの把握が不可欠です。コロナ禍でお客様との対面によるコミュニケーションの機会が減少する中、オンラインによる	対話やセミナーを充実させるなどデジタルを積極的に活用し、お客様との接点を常に最適な状態になるよう努めています。環境の変化に応じた有効な施策を打ち、お客様との対話を通じて持続的な企業価値向上を実現しています。  オンラインセミナーの様子 ※QCDS … 品質(Quality)、価格(Cost)、納期や入手性(Delivery)、対応やサポート(Service)

従業員との対話	新しい価値の創造に向けた「雑相（雑談と相談）」の場の提供
ムラタでは、自律分散型組織運営を目指しており、その実現には、従業員と社長の考えの共有や納得度を向上させることが必要と考えています。社内コミュニケーションツールを新たに導入し、社長からのメッセージを全世界の従業員に配信しています。また、従業員から社長に質問や相談、提案などもすることもでき、双方向でのコミュニケーションが活発に行われています。従業員からは「社長との距離が近く感じられる」「社長から直接返事がもらえるのが嬉しい」「行動・思考のヒントをもらえる」「経営に関する情報がタイムリーに分かる」といった声も挙がっており、組織の活性化が新しい価値創造の土壌となっています。	 社内コミュニケーションツール「社長さんとの雑相部屋」

株主様・投資家様との対話	積極的な対話を継続し、会社全体で株主様・投資家様と価値を共創
ムラタでは、株主様・投資家様に当社の実態や経営の考え方などを理解していただくために、さまざまなIR活動を実施しています。アナリスト・機関投資家の皆様向けには、四半期決算ごとの決算説明会やインフォメーションミーティング、個別面談など、年間600件以上の対話の機会を積極的に設けております。また、個人投資家の皆様とも株主総会などを通じて対話を実施しております。これらの対話を通じていただいた貴重なご意見は、取締役	会や執行役員と共有し、当社の経営戦略や情報開示拡充の取り組みに反映しております。また、IR担当部門による社内IR活動 [※] を通じて、全従業員で株主様・投資家様に向き合うことで持続的な企業価値向上に努めています。  社内IRの様子（2019年度実施） ※社内IR活動 … 機関投資家様などとの対話で得られた声を社内フィードバックする活動